

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじんにほんてれまんきょうかい 一般社団法人日本テレマン協会		団体ウェブサイトURL http://www.cafe-telemann.com/
代表者職・氏名	代表理事 延原武春		
制作団体所在地	〒 530-0002	最寄り駅(バス停)	JR北新地駅・大阪メトロ西梅田駅 大阪府大阪市北区曽根崎新地2丁目1番17号
電話番号	06-6345-1046		
ふりがな 公演団体名	てれまんしつないおーけすとら テレマン室内オーケストラ		団体ウェブサイトURL http://www.cafe-telemann.com/
代表者職・氏名	音楽監督 延原武春		
公演団体所在地	〒 530-0002	最寄り駅(バス停)	JR北新地駅・大阪メトロ西梅田駅 大阪府大阪市北区曽根崎新地2丁目1番17号
制作団体 設立年月	1963年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:延原武春/理事:奥田博子・永海孝・中嶋丈三/監事:高山豪史/事務局長:今井良/事務職員4名/アドバイザー4名	団体構成員/テレマン室内オーケストラ 25名 加入条件/適宜行われるオーディションによる	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	今井 良
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	奥田博子
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	imai@cafe-telemann.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>関西を中心に活動する18世紀音楽の専門団体。バロックからベートーヴェンまでを専門とし、ピリオド楽器(バロック楽器及びクラシカル楽器)とモダン楽器を使い分けることが出来る室内楽団です。1963年、作曲家テレマンの「音楽は楽しくあるべき」というモットーに感銘を受けた現音楽監督の延原武春が創設しました。</p> <p>主催公演としては大阪市中央公会堂と東京文化会館での定期演奏会(年間10公演程度/通算300回以上)、大阪倶楽部でのマンスリーコンサート(年間8公演程度/通算500回以上)、カトリック夙川教会での教会音楽シリーズ(年間3公演程度)などがあり、依頼公演も含めると様々な地域で年間100回以上の公演を実施しています。</p> <p>これまでに十数回の海外公演や多数のCDのリリース等、多方面にわたり精力的に活動を続けており、文化庁芸術祭優秀賞や第17回サントリー音楽賞、その他多くの賞を受賞しています。2019年には創設当時からの演奏会プロデュース活動によるクラシック音楽普及に対する功績が認められ、ベストプロデュース賞を受賞しました。2023年には協会創立60周年事業第300回定期演奏会で1829年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現。その功績が認められ、令和5年度大阪文化祭賞を受賞しました。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2017年 神戸市立六甲小学校 2018年 道明寺南小学校・グレース幼稚園・神戸市立美野丘小学校・丹波市立大路小学校 大谷学園・奈良学園登美ヶ丘中学校 2019年 グレース幼稚園・姫路市立的形小学校 2020年 神戸市立湊小学校 2021年 グレース幼稚園・三木市立広野小学校 2022年 グレース幼稚園・猪名川町立猪名川小学校・大谷学園 2023年 グレース幼稚園 2024年 グレース幼稚園・三木市立口吉川小学校・川西市立けやき坂小学校・神戸市立泉台小学校</p>		
<p>特別支援学校等 における公演実績</p>	<p>令和5年度 舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演) □ 2023年10月30日 沖縄県立西崎特別支援学校</p> <p>平成30年度文化芸術による子供の育成事業一巡回公演事業一□ 2018年10月1日 札幌市立北翔養護学校 2018年6月12日 青森県立浪岡養護学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=opcNQMIrgis</p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 テレマン室内オーケストラ】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	バロック音楽の魅力が大発見！ ～テレマン室内オーケストラ バロック・コンサート～
-----	---

企画のねらい	<p>本企画のねらいはバロック音楽の良さをお伝えし、そのシンプルな構造から音楽の仕組みへの理解を深め、音楽の多様性への理解を促し感受性を養うことです。</p> <p>バロック時代は「メロディーをコードが支える」というポピュラー音楽を含む今日の西洋音楽の基礎が確立された時代です。バロック音楽は構造がシンプルなため、音楽を形作っている要素の関わり合いを感じ取り、拍の流れやフレーズ、反復や問いと答えといった楽曲の構造を理解するのに適した音楽です。公演時には司会者による解説でそれらのことをお伝えし、バロック音楽の良さが「わかる」と実感して頂けるようにしています。さらに鑑賞するだけではなくバロックダンスの体験では音楽に合わせて体を動かすことでバロック音楽を体感して頂きます。音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽と関わることで、音楽を愛好する心を育て、豊かな情操を養うことが本企画のねらいです。</p>
--------	---

演目概要・演目選択理由	<p>下記の5つのコンセプトで演目を選択致しました。</p> <p>①定番の名曲を聴いて頂くこと バロック音楽の定番の名曲であり、「入口」として是非鑑賞頂きたい演目としてJ.S.バッハ「G線上のアリア」、A.ヴィヴァルディ「春」を取り上げます。チェンバロが入り、バロック音楽の専門団体としての切り口での演奏を実際に聴く機会はあまりありませんので、その良さに触れて頂きたいと考えています。</p> <p>②クラシック音楽鑑賞の醍醐味である「知らない曲だけど良い曲」を聴いて頂くこと J.S.バッハと同時代に活躍したG.Ph.テレマンは現在ではあまり知名度のない作曲家ですが、存命中はバッハが足元にも及ばないほど人気のあった作曲家でした。本公演ではテレマンの作曲した「シンフォニア」を取り上げます。有名ではない曲でも良い曲があり、知らない曲を聴くこと、新しい良い曲を発掘することの楽しさを知って頂ければと考えています。</p> <p>③身近な楽器であるリコーダーのプロフェッショナルの演奏を聴いて頂くこと 音楽教育で使用されるリコーダーはバロック時代には花形楽器で、リコーダーのための協奏曲や室内楽曲がたくさん書かれました。身近な楽器であるリコーダーが本格的な楽器であることを実感して頂けるようJ.v.エイク「イギリスのナイチンゲール」、G.F.ヘンデル「リコーダー・ソナタ」、G.Ph.テレマン「リコーダー協奏曲」を取り上げます。プロのリコーダー奏者による本格的なリコーダー演奏を鑑賞することにより、自ら進んで音楽を聴こうとする意欲、積極的な鑑賞の態度や能力の育成につながればと考えています。</p> <p>④様々な国の曲を聴いて頂くこと 日本におけるバロック音楽の鑑賞はドイツやイタリアの音楽に偏りがちですが、フランスの音楽も重要な位置を占めています。J.B.リュリの作品を取り上げることで、ドイツやイタリアとの違いを感じて頂き、音楽の多様性への理解を促進したいと考えています。 さらに、本公演にはバロックダンスの体験コーナーをご用意していますが、リュリはルイ14世の宮廷で重用され舞踏会やコメディ・バレのために多くの曲を書きましたので、リュリの「メヌエット」はご鑑賞頂くだけではなくバロックダンスを踊って頂くことでバロック音楽を体感して頂くことが出来ればと考えています。</p> <p>⑤様々な編成の曲を聴いて頂くこと 小さな編成の楽団ですが、可能な限り様々な編成の曲をお聴き頂きたく、弦楽合奏、協奏曲、無伴奏曲、室内楽曲等の作品を取り上げます。さらに器楽の演目以外に声楽の魅力もお伝えたく、バロック歌曲の定番曲であるG.F.ヘンデル「オンブラ・マイ・フ」を取り上げます。</p>
-------------	--

児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>下記の3つを予定しています。</p> <p>1. 体験コーナー バロック・ダンス(J.B.リュリ:メヌエット) ワークショップで学習して頂いたメヌエット・ステップを、楽団の演奏に合わせて踊って頂きます。基本的には円になって踊って頂きますが、体験人数が多い場合はご鑑賞位置で整列した状態で踊って頂く場合もございます。</p> <p>2. 共演コーナー A.合唱共演(開催校様のご希望の演目)またはB.リコーダー共演(作者不詳:グリーン・スリーブス) リコーダーはソプラノリコーダーで習熟度別に楽譜をご用意しています。 ・小学3年生向け:使用音ソ・ラ・シ ・小学4年生向け:使用音ミ・ソ・ラ・シ・ド・レ ・小学5年生以上向け:使用音ミ～高いソ(#ファ、#ソ含む) ※中学校でアルトリコーダーでの共演をご希望の場合は、アルトリコーダー用の楽譜をご用意致します。</p> <p>3. アンコール 弦楽オーケストラのための編曲による開催校様校歌(合唱共演) 普段ピアノ伴奏等で歌いになられている校歌を弦楽オーケストラのための特別編曲版で演奏し、一緒にお歌い頂きます。</p>
-----------------	--

児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	1～500名程度
		鑑賞人数目安	1～500名程度

<p>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>18世紀に最も人気のあった作曲家テレマン ♪G.Ph.テレマン:シンフォニア 弦楽合奏の魅力 ♪J.S.バッハ:G線上のアリア オーケストラの楽器を知ろう! 楽器紹介～弦楽器、チェンバロ～ 音による情景描写 ♪A.ヴィヴァルディ:「四季」より「春」 【体験コーナー】 バロック・ダンス(J.B.リュリ:メヌエット)</p> <p>～休憩(10分)～</p> <p>鳥に鳴き方を教える楽器リコーダー ♪J.v.エイク:イギリスのナイチンゲール 室内楽のリコーダー ♪G.F.ヘンデル:リコーダー・ソナタ より リコーダーのための協奏曲! 超絶技巧を聴いてみよう! ♪A.ヴィヴァルディ:ソプラノ・リコーダー協奏曲 歌声の魅力 ♪G.F.ヘンデル:歌劇「セルセ」より「オンブラ・マイ・フ」 【共演コーナー】※AまたはBの選択制 A.合唱共演(開催校様のご希望の演目) B.リコーダー共演(作者不詳:グリーン・スリーブス)</p> <p>アンコール 弦楽オーケストラのための編曲による 開催校様校歌(合唱共演)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>			
<p>出演者</p>	<p>指揮:姜隆光 または 高曲伸和 独奏/リコーダー:村田佳生 司会:伊豆田佑香 歌:中村朋子 または 渡辺有香 コンサートマスター:浅井咲乃</p> <p>テレマン室内オーケストラ 編成:VnI 2/VnII 2/Va 1/Vc 1/Cb 1/Cem 1 ※離島用の小型チェンバロあり。ただし航空機で運搬出来ない場合はチェンバロの代わりにリュートをを使用</p> <p>●上記以外の出演予定メンバー(下記のメンバーでローテーション) 三谷彩佳・田畑佳子・小川菜奈・上田晶子・河村真央・松本紗希・黒江郁子・串田えがく・姜隆光・松井紀子・坪ノ内裕太・若松芳 鷺見敏・小森奏・大熊勇希・橋本将紀・小鍛冶優子・高田泰治・高本一郎</p>			
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>指揮者 姜隆光 テレマン室内オーケストラの首席ヴィオラ奏者を務める傍ら、同楽団指揮者・音楽監督延原武春のアシスタント・コンダクターを務める。世界的なバロック・ヴァイオリン奏者であるサイモン・スタンディジやウッラ・ブンディースらと共演してきたことで、18世紀当時の演奏習慣や奏法、解釈について深い見識を有している。</p> <p>リコーダー独奏 村田佳生 大阪音楽大学でバロック音楽の演奏習慣について学ぶ。その後桐朋学園大学を経て渡欧。アムステルダム音楽院やユトレヒト音楽院でリコーダーを学ぶ。2005年に帰国し、関西を拠点として演奏活動を行いながら後進の指導に努める。</p> <p>ヴァイオリン独奏・コンサートマスター 浅井咲乃 テレマン室内オーケストラのソロ・コンサートマスター。ヴィヴァルディ「四季」を得意とし、音楽誌などで「いま、もっとも聞きたい『四季』」という高い評価を得る。日本テレマン協会定期演奏会東京公演では共同通信で「浅井咲乃は熱意にあふれた弓さばきで華々しいソロを弾きこなす」と報道される。2012年にはCDデビュー。大阪市浪速区の文化親善大使も務める。</p>			
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> <p>出演者: 12 名</p> <p>スタッフ: 3 名</p> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <p>合計: 15 名</p> </td> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;"> <p>運搬</p> </td> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <p>積載量: 1 t</p> <p>車長: 4.7 m</p> <p>台数: 1 台</p> </td> </tr> </table>	<p>出演者: 12 名</p> <p>スタッフ: 3 名</p> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <p>合計: 15 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 1 t</p> <p>車長: 4.7 m</p> <p>台数: 1 台</p>
<p>出演者: 12 名</p> <p>スタッフ: 3 名</p> <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> <p>合計: 15 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 1 t</p> <p>車長: 4.7 m</p> <p>台数: 1 台</p>		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	10時～12時	13時～14時半	10分	14時半～15時	15時半
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月	7月	8月	9月		
	15日	15日	15日	15日		
	10月	11月	12月	1月		
	10日	10日	10日	15日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	105日	

ステージ
長机 長机 長机
※緞帳を閉めて頂き、ステージ上を
楽器ケース置きスペースとして使用

横 8m 程度
縦 4m 程度
2 ~ 3m
演奏スペース
鑑賞スペース
司会者用椅子
演奏者控え用椅子

- ・体育館のフロアを使用して演奏致します。舞台上は、緞帳を閉めて頂けるのであれば楽器ケースを置くスペースとして使用させていただきます。
- ・演目によっては演奏しない奏者が居ますので、演奏スペースの両サイドには奏者控え用の椅子をご用意致します。
- ・楽団が演奏に使用するスペースは縦4m程度×横8m程度です。児童・生徒の皆様の鑑賞スペースと楽団の間は2～3m程度空けて頂きます。
- ・ピアノは使用致しません。演奏に支障のある位置に置かれている場合はご移動をお願いする場合がございます。
- ・演奏スペースに直射日光が入る場合は暗幕を閉めて頂く場合がございます。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 テレマン室内オーケストラ 】

ワークショップのねらい	<p>本公演で鑑賞するバロック音楽への理解を深めることがワークショップのねらいです。弦楽器の仕組みやバロック音楽に特有の通奏低音についてあらかじめ学んでおくことで、本公演でバロック音楽を鑑賞する際に予備知識を持った状態で鑑賞することが出来ます。本公演の鑑賞時に音楽を形作る要素(旋律やリズム、和声など)や仕組み(反復、問いと答えなど)に気付くことが出来る下地となるような機会にしたいと考えています。</p> <p>また、バロックダンスのメヌエット・ステップを学習する際には、座学だけではなく実際に踊って頂きます。音楽に合わせて体を動かすことでバロック音楽を体感し、バロック時代の芸術を総合的に捉えて頂くことが出来ます。王侯貴族の舞踏会で踊られたメヌエットを実際に踊ってみることで18世紀ヨーロッパの人々が何を感じ、考えていたかを体感して頂きます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	1～500名程度
ワークショップ実施形態及び内容	<p>ワークショップの内容は「知る」、「聴く」、「体験する」の3つの要素で構成し、2校時分を想定しています。</p> <p>●1校時目 【知る】バロック音楽の特徴について解説 バロック時代における調性音楽の確立やチェロなどの低音楽器とチェンバロがセットになった通奏低音などについて解説します。 【知る】ヴァイオリンまたはヴィオラの楽器紹介 本公演では弦楽器を主体とした楽団の演奏をご鑑賞頂きます。弦楽器にはヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの4種類がありますが、どの楽器も楽器本体と弓がセットになっていることや弓には馬の尻尾の毛が使われていることなどは共通しています。ワークショップにはヴァイオリンかヴィオラの奏者が赴き、楽器の構造や音の出る仕組みなどについて解説します。 【聴く】実演 ヴァイオリンかヴィオラによる演奏で、バッハの無伴奏作品より1曲をご鑑賞頂きます。</p> <p>●2校時目 【知る】バロックダンスとは バロックダンスは17世紀初頭から18世紀中ごろまでフランスの宮廷を中心に盛んに踊られました。バレエや社交ダンスのもとになったダンスであるということなどを解説します。 【知る】バロックダンスのステップについて 本公演で体験して頂くメヌエット・ステップを学習して頂きます。メヌエット・ステップは3拍子2小節の6拍がワンセットとなっており、6つの動作で成り立っています(特記事項参照)。 【体験する】メヌエットを踊る 上記の動作を覚えて頂いた後は、「1, 2, 3, 4, 5, 6」の掛け声に合わせて6つの動作を練習し、ヴァイオリンまたはヴィオラの伴奏で実際に踊ってみます。本公演では男女交互に並んで円になり踊ります。</p> <p>※リコーダー共演の場合 本公演でリコーダーでの共演を選択された開催校様には弦楽器奏者の代わりにリコーダー奏者が赴きます。1校時目は弦楽器の紹介がリコーダー奏者による共演曲の指導となり、実演鑑賞もリコーダーの無伴奏曲となります。2校時目のバロックダンスの伴奏者もリコーダー奏者が務めます。プロのリコーダー奏者による技巧的な演奏を間近でお聴き頂くことで、本公演で聴くリコーダーのための室内楽曲や協奏曲への期待感を高めます。</p> <p>※開催公様からご要望があれば、上記内容より一部内容を変更して実施することも可能です。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>●メヌエット・ステップについて 3拍子2小節がワンセットとなり、下記の6つの動作から成り立っています。※参考動画参照 【開始のポーズ】左足に重心をかけて立つ/膝を曲げる/右かかとを少し上げて左くるぶしに付ける 【1】右足を前へ踏み出して着地/膝を伸ばす 【2】膝を曲げる/左足はつま先立ちに/左のかかとを右のくるぶしに付ける 【3】左足を前に踏み出して着地/膝を伸ばす 【4】膝は伸ばしたまま/右足を前へ踏み出して着地 【5】膝は伸ばしたまま/左足を前に踏み出して着地 【6】膝を曲げる/右足はつま先立ちに/右のかかとを左のくるぶしに付ける</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 テレマン室内オーケストラ】

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

①本事業に対する取り組み姿勢

当協会は全国的に見ても数少ないバロック音楽を専門とする楽団です。バロック音楽は構造がシンプルなため、音楽を形作っているリズムや強弱、音の重なり等が生み出す美しさを感じて頂きやすく、反復と問いと答えといった楽曲の構造を理解するのに適した音楽です。さらに音楽教育の場で親しまれているリコーダーはバロック時代には花形楽器でしたので、リコーダーのために書かれた協奏曲や室内楽曲が存在します。プロフェッショナルなリコーダー独奏者の演奏を鑑賞することで、リコーダーが単なる学習のための楽器ではなく芸術作品を演奏可能な素晴らしい楽器であり、児童・生徒の皆様も同じものを所有し、練習を重ねれば高度な技術を習得することが出来るかもしれないという気付きを得て頂くことが出来ると考えています。

しかしながらチェンバロを使用した本格的なバロック音楽の公演を実施出来る楽団が国内には少なく、鑑賞教材として適しているにも関わらず児童・生徒の皆様にはバロック音楽の良さをお伝えしきれていないのが現状です。数少ないバロック音楽の専門団体として、当該分野の公演を通して児童・生徒の皆様が音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことに寄与することが使命であると考えています。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

当協会の工夫は以下の通りです。

【学校との連絡調整について】

・マニュアル

ご担当の先生との打ち合わせを円滑に進めるために、公演に向けての打合せ内容を簡潔にまとめたマニュアルを作成しています。紙ベースのもの、PDFデータ、WEBページなど、同内容のものを複数のプラットフォームで作成し、一番ご覧頂き易いものをそれぞれ選択して頂けるようにしています。

・連絡頻度

開催校様とのご連絡は公演日及びワークショップ実施日計算で時期を4段階設定しています(①最初のご連絡、②ワークショップ2週間前、③本公演1か月前、④本公演1週間前)。これまでの経験で、それぞれの段階でお打合せすべき内容を精査し、簡潔かつもれのないように心がけています。

・ご回答及びご提出物について

打合せに際して学校側からご回答・ご提出頂く内容としては、WS日程や本公演開演時間、借用備品等の有無、校歌の楽譜、共演内容等がありますが、ご連絡の方法としてはWEB上での入力フォーム、Wordデータ、FAXなど複数ご用意し、開催校様ごとに一番ご都合の良いものをお選び頂けるようにしています。また、それぞれのご回答・ご提出物につきましては明確に期限をお伝えしてご連絡することで、スムーズにワークショップ及び本公演を実施出来るようにしています。

・現地確認

ワークショップの際に体育館や開催校様近隣の交通事情などの現地確認をさせて頂き、本公演での移動をスムーズに出来るようにしています。

・訪問打合せ

上記お打合せでもご不安な点がおありの開催校様には、必要に応じて事務局スタッフが出向き、お打合せをさせて頂くことでご担当の先生のご負担を軽減致します。

・公演当日

公演当日は事務局スタッフが楽団に随行し、事前のお打合せ内容をご担当の先生と確認し、公演に臨みます。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

楽団員と事務局が情報を共有するために、それぞれからメンバーを選び、数名で構成される実行委員会を組織しています。必要に応じて会議を行い、バロック音楽の専門団体として本事業に参加する意味合いや企画のねらいやコンセプト、旅程の確認などを行います。

WSには歌手(兼バロックダンス講師)と楽器奏者(ヴァイオリン奏者かヴィオラ奏者、またはリコーダー奏者)1名が参加します。WS終了後には両名がレポートを作成し、それを元に行き実行委員会で会議を実施いたします。開催校様毎に適した方針(例えば編曲内容の微調整や、児童・生徒の皆様との当日の対話のあり方、休憩の取り方など)を細かく協議していきます。

上記協議に基づき、開催校様毎にポイントを書き込んだ台本の作成を目指します。台本作成に当たっては司会者と台本作者を交えた実行委員会の会議を実施します。台本はバロック音楽の特徴を端的に理解して頂きやすく、なおかつ児童・生徒の皆様との対話を意識した内容になるよう心がけています。箇条書き状態で、現場の流れや雰囲気、児童・生徒の皆様のご状況を考慮し取捨選択出来るようにしてあります。

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 **テレマン室内オーケストラ**】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>①離島・へき地等における公演実績 【令和5年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)】 壱岐市立初山小学校・壱岐市立鯨伏小学校・与那国町立与那国中学校・与那国町立久部良中学校 【令和3年度文化庁補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」】 与論町立世論小学校 【平成30年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業】 奥尻町立青苗小学校</p> <p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>【特殊事情がある地域での実施にあたっての工夫】 貴族の宮廷や教会で演奏されていたバロック音楽は、小編成の楽団でも本来の魅力を存分にお伝えすることが可能です。また、特殊な照明や音響機材を必要とせず、通常照明と司会用のマイクシステムのみ使用いたしますので、開催公様側にご協力頂く会場・設備面でのご負担は少なくなります。持込の備品も譜面台等の最小限となっていますので、移動困難な地域でも対応することが可能となっており、舞台設営も短時間での仕込み・撤収が出来ます。さらに、チェロとチェンバロを除く奏者が立奏することで、ひな壇等を組まなくても視認性が良い状態で演奏することが可能です。</p> <p>【質を保つための工夫】 テレマン室内オーケストラは室内楽の団体であり、平時の活動の中にも本企画と似通った編成で行っているものが多数あるため、質の高いアンサンブルの演奏を提供することが可能となっています。また、最小限の出演者であったとしても曲想や編成にバリエーションを持たせつつ体験プログラムも配置することで変化に富んだ企画を立案しています。移動困難地域であったとしてもチェンバロを運んで実施したいので、従前より小型のチェンバロを使用した公演を実施していましたが、本事業のためにさらに小型のチェンバロを入手しました。ただし、航空機移動の際はAB席が3席必要となるため、移動手段が2列シートの航空機の場合にはリユートで代用いたします。</p> <p>③C区分応募における、費用面の工夫 楽団の編成を最小限にして、出演者を楽団首席奏者をはじめとする経験豊富な者に限定することで、人件費と派遣費、運搬費を削減しつつ質の高い公演が実施可能となっています。使用する楽器のうち、ヴァイオリン、ヴィオラ、リコーダーは奏者が手持ちで運搬することが可能です。運搬車を必要とする楽器はコントラバスとチェンバロのみとなっており、譜面台、楽譜、チェロ椅子、コントラバス椅子等の備品を含めても小型のハイエースのみで運搬可能となっています。さらに演奏者がライブラリアンやステージマネージャーを兼ねることで費用の削減につながっています。 また、移動が困難な地域ではワークショップと本公演を連続した日程、または同日に実施することで費用削減につなげることが出来ます。</p>
---------------------	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.1	【公演団体名 テレマン室内オーケストラ】
	<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴項目内容</p>	<p>日本テレマン協会は1963年に創設したバッハからベートーヴェンまでを専門とする日本でも珍しい楽団です。バロック音楽から古典派にわたる室内楽分野の演奏活動とアカデミックな研究を通じて、音楽芸術の普及を図り、地域の文化振興に寄与することを目的としています。「社会の一員」であるオーケストラとして、以下のことを使命に活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バロックと古典派の音楽の普及啓蒙 ・同分野の研究と文化的な牽引を担うこと ・演奏活動を通じての関西の文化振興への寄与 ・音楽鑑賞事業や親子コンサートなどの実施による情操教育への貢献と次代の聴衆の育成 ・特色のある小規模公演を実施することによる地域社会への貢献 <p>2023年には創立60周年を記念して「音楽性の深化」、「次世代・次々世代の育成」などをテーマに周年記念事業を実施しました。</p> <p>2023年10月15日に実施した第300回定期演奏会では1829年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現しました。バッハが現在のように有名となったきっかけである歴史的イベントの再現ということで、下記のような理由で令和5年度大阪文化祭賞を受賞しました。</p> <p>創立60周年を迎えた日本テレマン協会が、その記念事業の一環として第300回定期演奏会で取り上げたのはJ. S. バッハ《マタイ受難曲》で、1829年にメンデルスゾーンによって復活上演が行われた際の演奏形態を再現しようというもの。</p> <p>創設者である延原武春の指揮により引き出された表現は、いつもの古楽アプローチとは異なり、ロマン派の仮面をかぶった演技をしているようで非常に興味深かった。メンデルスゾーンの意図を汲むという意味で、指揮者としての延原の能力を再確認でき、オーケストラも優れた演奏。福音史家を務めた新井俊稀とイエスの篠部信宏の充実した歌唱をはじめ、日本テレマン協会所属のソリストたちは、合唱団も含めて、延原の指揮に寄り添った演奏を繰り広げた。約200年前の演奏の状況を再現するというユニークな試みが、音楽的な密度を伴って表現された。</p> <p>以上の理由により、この公演を高く評価して大阪文化祭賞を贈呈する。 (令和5年度大阪文化祭賞プレスリリースより)</p> <p>また、一般的には「次世代育成のための演奏会」とは子供が対象になりますが、音楽監督延原の考えで親子で楽しめる公演を実施しました。周年記念事業ということで各自治体のホールと協働で6公演を実施しましたが、2024年にも継続的に実施しています。下の写真は公演時の指揮者体験コーナーのもので</p> 